



映画を見る幸福（しあわせ）

主催 福智町青少年育成町民会議

映画の神様はきつといる。ひたむきにやっていると降りて来るんですよ。黒土監督の構想から15年後に鳴いた蝉。その名作『蝉しくれ』から、今「を見つめ直します。

人は感動が大好きな生き物。人は感動が大好きな生き物。

Mitsuo Kurotsuchi



映画『蝉しくれ』。舞台は東北の小藩、貧しいながらもつつましく生きる牧文四郎が、少年期から体験する辛苦と、幼馴染のおふくとの切なく美しい恋を軸に展開する。藤沢周平の最高傑作『蝉しくれ』の映像化を唯一認められた黒土監督が、構想から15年の歳月をかけて完成。市川染五郎、木村佳乃、緒形拳、原田美枝子、大滝秀治、大地康雄ほか豪華キャスト。



黒土三男氏

映画監督 / 脚本家

1947年3月3日生まれ。映画監督・脚本家として活躍。監督作品に「オルゴール」、「波濤」、「英二」、「蝉しくれ」。TVドラマ脚本作は「オレゴンから愛」「親子ゲーム」とんぼ など多数。



いい物を見極める目で、 いい映画を見てほしい。 いつまでも心に感動を。

「この映画はダメかもしれない。頭からスツと血の気が引いていきました。原作は藤沢周平氏の最高傑作、制作費7億円、黒土監督が構想から15年をかけた映画『蝉しくれ』。その撮影初日、主人公を演じた石田卓也さんのごちない演技に、黒土監督は青ざめたと言います。中学を卒業したばかりの石田さんは演技経験もゼロ、黒土監督はオーディションの一人目で可能性を見抜き、彼を抜擢した責任を感じていました。しかし、監督のねばり強い指導により、やがて彼の演技は純で清々しいものへと昇華していきます。一人の少年が決意と努力で見違えるような成長を遂げていく様を、黒土監督は1年半の撮影で目の当たりにしてきました。

「いい映画やいい小説は人の人生を変える力を持っている。みなさんには、そういうもの正日常で触れて欲しいんです。僕が映画監督になつたきっかけは4歳の時ですよ。両親が別れて父が僕を母に渡さなかつた。その時、母が涙を流して謝りながら僕から去っていったのを鮮明に覚えている。それ以来、布団をかぶって泣いたのを思い出します。悲しくてね、母親に会いたくて、ただ僕が映画館だつたのが救いでしたね。昔の映画館は空調もなく、壁の穴のすき間から通気していて、ちょうど僕の家からその穴を斜めに見るとスクリーンが見えるわけ。それで毎日見てましたね。同じ映画を何度も。笑ったり、泣いたり、感動してた。世界的な名作が僕の癒しだつた。今思えば、そのころから映画監督になる宿命だつたんじゃないかと感じるんです。だから、映画への恩返しのために、くだらない映画は絶対に作りたくないんですよ。」

黒土監督の講演は、撮影シーンの映像や海外での体験、そして俳

優・緒形拳さんとのエピソードなど興味深い内容ばかり。客席は終始監督の言葉を聞き漏らさぬよう、真剣に耳を傾けていました。だれだつて本気で人を好きになつたことがあるでしょう。人を愛することは感動ですよ。心がときめいたはずですよ。人間は感動があるから生きていける。感動がなくなつてきたから、変な事件が起きてきたんじゃないですか。今の子どもたちに感動がありますか。大人は感動を与えていますか。今のテレビの下品さはなんだろうと思う。くだらないものは見て欲しくないんです。」

感動こそ映画を見る楽しみ。蝉しくれを脚本しながら思いましたよ。本来日本人は、恥じらいや礼儀、謙遜と、義や感謝を持ちながら生きていたんだと。そんな誇るべきものを世界にみせたい。人間は愚かだし、世の中は変な風に変わってきてるけど、また僕は希望を捨ててないんです。いつかは原典に戻れると。だけどそれは、今いる僕らがちゃんと生きることですよ。

子どもたちに本気で生きろと姿を見せるべきですよ。命がけでひたむきにやつてる事は子どもたちに必ず通じると思っています。だからみなさんには、いい映画を見て欲しい。そのために日々努力して、ものを見る力を持つてほしいんです。黒土監督は「親が子を殺して、子が親を殺す。この国はここが狂ってきた」と指摘します。そんな今の社会とかつての日本の姿を、自身の作品を通して言わせます。

「僕は今日この福智町の景色が目の前に現れたとき、すてきないい風景だ。って感動しましたよ。それが、ものを見る力ですよ。そんな感動が町の自然を守る行動へつながると思うんです。僕はセリフには表しませんが、映画の中でそういう大切にしなければならぬ思いを込めています。藤沢周平さんの原作から映画『蝉しくれ』を作りましたが、脚本を書きながら泣きましたよ。こいついつか子どもが

かつての日本にはいたんだと思う。すばらしいことです。次の作品も藤沢文学の映画を撮影する予定ですが、上映の際にはぜひ僕の話を思い出してみてください。」



日時:2008.3/7 PM 7:00-
会場:福智町地域交流センター
参加:約200人

特集 公演を聴く。